

デジタル社会における消費者法制の比較法研究

ーデジタル公正性に関するEU消費者法の適合性チェックの議論を踏まえてー

令和8年3月

消費者庁新未来創造戦略本部



本日の内容

2

1. これまでの経緯

2. プログレッシブ・レポート（公表予定）について

1. これまでの経緯

3

【背景】

社会のデジタル化の進展

消費者取引の変容と新しい消費者問題の発生
越境取引の増加と越境的な消費者問題の増加

欧米におけるデジタル化に対応する新たな消費者法制

【研究会の発足】（2021年1月29日）

※以下の5名の客員主任研究官をメンバーとする

- 松本恒雄 一橋大学名誉教授（研究責任者）
- 川和功子 同志社大学教授
- 芦野訓和 専修大学教授
- 馬場圭太 関西大学教授
- 永岩慧子 龍谷大学准教授

1. これまでの経緯

- **プログレッシブ・レポート（2022年8月公表）**
「デジタル社会における消費者法制の比較法研究」海外有識者インタビュー(1)
- **プログレッシブ・レポート（2023年6月公表）**
「デジタル社会における消費者法制の比較法研究」海外有識者インタビュー(2)
- **リサーチ・ディスカッション・ペーパー（2023年6月公表）**
「デジタル社会における消費者法制の比較法研究－デジタル・コンテンツ及びデジタル・サービスの供給契約を中心に」
- **プログレッシブ・レポート（2024年9月公表）**
「デジタル社会における消費者法制の比較法研究」
- **リサーチ・ディスカッション・ペーパー（2025年3月公表）**
「デジタル社会における消費者法制の比較法研究－デジタル化された取引における消費者の正当な利益の確保のために－」

1. これまでの経緯

リサーチ・ディスカッション・ペーパー（2023年6月公表）

「デジタル社会における消費者法制の比較法研究」

- 「ドイツにおけるデジタル・コンテンツ指令及び物品売買指令の国内法化－民法典における位置づけ、適用範囲、消費者による個人データの提供について－」

芦野訓和 客員主任研究官

- 「ドイツにおける取引のデジタル化への対応－適合性に関する基準を中心に－」

永岩慧子 客員主任研究官

- 「フランスにおけるデジタル・コンテンツ指令及び物品売買指令の国内法化－国内法化オランダの概要－」

馬場圭太 客員主任研究官

- 「デジタル・コンテンツ及びデジタル・サービスの供給契約の一定の側面に関する欧州議会及び理事会指令について－契約適合性についての規定を中心に－イギリス法、アメリカ法の展開も踏まえて」

川和功子 客員主任研究官

- 「デジタル社会における無償の消費者契約と消費者保護について」

松本恒雄 客員主任研究官

1. これまでの経緯

6

リサーチ・ディスカッション・ペーパー（2025年3月公表）

「デジタル社会における消費者法制の比較法研究－デジタル化された取引における消費者の正当な利益の確保のために－」

- 「デジタルプラットフォーム提供者の法的責任の一端－EU・ドイツにおける2024年の判例の検討－」
芦野訓和 客員主任研究官
- 「オンライン上の契約解約と消費者保護－ドイツにおける議論の展開を中心に－」
永岩慧子 客員主任研究官
- 「フランス法における電子的手段による契約解約の簡易化－3クリック・ルールの導入－」
馬場圭太 客員主任研究官
- 「消費者法の観点から見たプロファイリングに基づくパーソナライズド・マーケティングとその規制－パーソナライズド・プライシングを中心に－」
松本恒雄 客員主任研究官
- 「『デジタル公正性に関するEU消費者法の適合性チェック』における消費者の脆弱性についての議論」
川和功子 客員主任研究官

2. プログレッシブ・レポート（公表予定）について

デジタル公正性に関するEU消費者法の適合性チェック

欧州委員会では、デジタル環境における高水準の消費者保護（デジタル公正性）を確保するために、現行の法制度が十分か判断するため、消費者保護の枠組みの中核をなすEU指令を対象として調査を実施し、2024年10月にスタッフ作業文書を公表。



消費者がデジタル環境で遭遇する問題は以下のとおり。

- ▶ 欺まんの又は中毒的なインターフェース設計や機能。
- ▶ ぜい弱性をターゲットにしたパーソナライズ化の慣行。
- ▶ デジタル・サブスクリプションの解約や更新の困難さ。
- ▶ 不公正な契約条件の強制的な受入れ。

プログレッシブ・レポートでは、上記適合性チェックを題材に、消費者がデジタル環境で遭遇するいくつかの問題について、EUレベル又は加盟国レベルでの検討状況・規制状況を紹介。

2. プログレッシブ・レポート（公表予定）について

➤ EU及びドイツにおけるデジタルサービス上での未成年者保護

芦野訓和 客員主任研究官

デジタルサービス上での未成年者保護について、独自の法政策をとっているドイツの法規制の歴史について概観し、フィットネスチェックの指摘を明らかにし、その後のEUの取組を取り上げる。

➤ インフルエンサー・マーケティング（Influencer Marketing）に関する規律の動向 -欧州を中心に

川和功子 客員主任研究官

インフルエンサー・マーケティングに関し、EU及びフランス法について取り上げる。

➤ サブスクリプション契約における消費者保護-欧州の動向を中心に

永岩慧子 客員主任研究官

サブスクリプション契約における消費者問題へのアプローチについて、関連するEU法や加盟国（主にドイツ）における対応等を取り上げる。

2. プログレッシブ・レポート（公表予定）について

➤ 欧州における「自動化された契約 automated contracting」に関する規律の動向

馬場圭太 客員主任研究官

契約の自動化が実務において進展しており、また、生成AIが用いられている状況を踏まえ、自動化された契約にどのような法的な位置づけが与えられるべきかについて、欧州の動向を中心に取り上げる。

➤ 消費者取引におけるプロファイリングの活用と問題点

松本恒雄 客員主任研究官

個別化の前提となっている、消費者の個人データのプロファイリングについて、個人情報保護法及び消費者法における対応について取り上げる。

【次年度以降の予定】

- 欧州委員会がデジタル公正性に関するEU消費者法の適合性チェックを背景に、デジタル公正法についての提案を行う見通し
- さらに研究を進め、リサーチ・ディスカッション・ペーパーとしてまとめる予定